

# 性の多様性説が間違っている理由を論理的に説明します

## ライブラリ

頭脳労働は頭が良ければできます。女も男も関係ありません。

**「女が女を好きになっただけ。男が男を好きになっただけ。女も男も『人間』には違いない。同じ人間なら女も男も同じ。女と男が同じなら、同性同士と異性同士も同じ。同性同士は異性同士と同じ権利があつて然るべき」という論理**

- B「異性同士も同性同士も、『人間同士』には違いないのに、異性同士は認められて、同性同士に権利が認められないのはおかしいです」
- A「不当判決です。我々は差別されました。この国の司法は機能してません。立法も行政も終わっています」
- M「裁判官も人間です。Bさんを大切にするように、なぜAさんは裁判官の考えを尊重しないのですか？」
- A「そうですけど、判決がおかしいんですから」
- M「国の批判をしていましたが、国上層部も人間の集まりです。あなたは国上層部と庶民を分けてませんか」
- A「でも国は決める側だし…」
- M「国上層部を神格化していることはありませんか」
- A「いや、それはないです。批判は裁判官の仕事ぶりです。裁判官をしている『人間』については何も言ってません」
- M「人間と職業は分けるのですね」
- A「そうです。極端な話ですが、文明が栄えてなければ職業はなかった。人間と職業は切り離せます」
- M「性別は？」

A「性別は切り離せません。人間の根幹に関わりますから」

M「では、性別は人間の根幹であり、女と男は性差による体の違いを無視できないと認めたことになります」

A「えっ?! いや、そうゆう訳では…!」

B「詭弁よ、詭弁!! なに屁理屈こねて、いい気になってんのよ。あんた!」

M「どうぞ、そのまま反論に入ってください」

B「反論って…、人間と性別は切り離せるのよ!」

M「どうゆうことでしょう」

B「それは…（なんと説明すればいいかわからない）、あー、もう!! 私はこの人と一緒にになりたい!! 認めてもらいたいだけなの!! なんでそんな簡単な事が許されないの。おかしいわよ、この国は!! わーッ（泣）」

M「仮に、わたしの論理に間違いがあり、同性同士が認められたら、次は一夫多妻と多夫一妻を認めろと来ます。その次は、男女混合の五人組や十人組を認めろと来て、認められたら『複数人組みは一つの人格である』と言い出し、『一人格となった複数人組み同士の婚姻を認めよ』と発展し、しばらくするとその中の二人組が『離脱したい』と言い出して、二人組に一人が参入しようとして断られると『あいつはいいけど自分はダメだなんて差別だ!!』と騒ぎだし、『自分が拒絶された原因は、制度を作った国にある』と言われてもどうにもなりません。

要求のまま制度を拡張し続ければ、必ずどこかで綻びが出ます。現時点でも話がこじれています。『あれが通るなら、これもいいはずなのに通らないのはおかしい』という不満が出て、どこかで線引きするしかありません。そして線を引くのはここです。同性同士は認められません。

境界線を引けば、納得する人と不満を抱える人が出て来ます。権利! 権利! と個人の権利を通そうとしますが、全般に、公共の福祉に反するなら通りません」

性別は人間の根幹であり、性差による体の違いは無視できないため、同じ「人間」ですが、男女は区別する必要がある、異性同士が認められても同性同士は認められません。また、準ずる制度についても同じです。

## **「同性のこの人が好きだから一緒にになりたいだけなのに、なんで認めてくれないの」という論理**

好きだから「一緒にになりたい」なら、嫌いになったら「制度も権利もなければ、元の真っ白な状態にすぐ戻れたのに、余計な制度と権利のおかげで時間と手間と費用がかかり、私の人生が台無しになってしまったじゃない。どうしてくれるのよ!」となるので、いずれも当人の勝手な言い分でしかなく、論理がないため議論の対象になりません。

## **「同性同士の権利が認められないと、こんなにも理不尽なことが起きる。理不尽をなくするためには権利を認めてもらうしかない」という論理**

社会にはたくさん理不尽なことがあるのに、LGBT が主張する理不尽だけ解消しようとするのはおかしいです。理不尽です。この世の中は理不尽だらけです（〇〇〇受信料、〇〇員制度、昨今の〇〇〇〇など…）。

## **「性のあり方は多様だから、性の多様性を認めるべき」という論理**

「多様性」を認めるなら、性の多様性を否定する人も、多様性の一つとして認めることになります。「性の多様性を否定する人」を LGBT が否定するなら、LGBT が多様性を否定しています。

「『性の多様性』を前面に出したのであって、『全般の多様性』を掲げた訳ではないから、言質を取るように『多様性』の部分だけ使うのはおかしい」という言い分があるなら、「『多様性』を打ち出している以上、分野を限定するのは多様性ではないので論理が破綻している」という反論ができます。

## 「女と男を分けない。分けるのはおかしい」という論理

「トイレ・更衣室・スポーツ競技は分けて」と LGBT は主張しています。

つまり LGBT は、女と男の性差による肉体の違いを認めてますので、女と男を分けることを認めております。また「LGBT」の時点で四つに分かれてますし、「アライ」という支援者も認めて分けています。性別欄の選択肢も分けてほしいとのことです。

## 「性自認と肉体の性が食い違うまま生きるよりは、男女以外の性が認められてもいいのではないか」という論理

生まれた直後に「私は女だ」「自分は男だ」という認識を持っていたでしょうか？持っていません。言葉を習得してないからです。「女または男の概念を持って生まれた」と言われても証明できません。

当サイト管理者は「ビジュアルスノウ症候群」の症状があり、先天性ですが、「幼少の頃から症状があった」としか説明できませんので、先天性であることを証明できません。もし、先天性が反証されても、本人の認識が覆されるだけで周りに影響を及ぼしません。

しかしながら LGBT は社会を大きく変えようとしています。根拠を示さずにです。

LGBT は「性自認」を話題にしますが、「性自認の時期」は議題に上げません。先天性なら生まれた直後から性自認と肉体の性が食い違っていたことを証明しなければなりません。

後天性なら本人が取り組む問題で、社会を大きく変えようとするのは筋違いです。確認行為を繰り返す「強迫性障害」という後天性の心の病を抱えている人達は、心理カウンセラーや精神科へ通うなどして、解決しようとしております。

ビジュアルスノウ症候群（VSS。私の場合）

ベタ塗りの色がベタ塗りに見えない。例えば白が真っ白に見えない。砂金が視界全体に舞っているように見える。色の識別はできる

---

性自認

「私は女だ」「自分は男だ」などの、ある程度の期間持続する本人の性別の意識

---

肉体の性

当人が生まれた直後に医師が判断した性別

---

## トランスジェンダー

---

トランスジェンダー女性

性自認は女性で、肉体の性は男性とされている人のこと

---

LGBT の T

「トランスジェンダー」の頭文字

---

体は男性でも心は女性，だから女性と同じ格好をするなら，原始生活女性の格好をしてもいいことになります。

一般女性と原始生活女性の中から一般女性の格好を選ぶのは「好み」という見かたがありますが，周りの強い反発の中で片方を選ぶ理由は「信念」でしかありません。それは当人が「一般女性と同じ格好をしたい」という強い意志の表れで，時には変わる嗜好ではありません。

女性の格好に明確な基準はありません。一般男性，または一般女性，または原始生活者，または古代人，または混合が，女性本来の格好かもしれないのです。

トランスジェンダー女性は，「自身の女性像」を具現化したいのであって，「女性」の格好をしたいわけではありません。女性の格好とは何か？の深い考察もありません。

トランスジェンダーを称している人は本物ではありません。自称です。

自称なら LGBT の T ではありませんので、柱の一つが無くなり、LGBT は自称トランスジェンダーによって総崩れを起こしています。

「男性が女性の格好をしてはいけない」は思い込みと言われておりますが、「一般女性の格好が女性本来の格好」もまた思い込みなのです。

## 日本の教育

「性教育」を受けてない子供たちに「性の多様性」の話をして、知識の偏りの中で判断させ、「性の多様性は正しい」という考えを子供たちに植え付けています。

性差による違いを知った上で判断しなければなりませんので、性教育を先にしなければなりません。

**「民間業者に申し込んだら、同性同士は家族として認められないので断られた。同性同士でも人間同士には違いない。同じ人間を不当に分けるなら法の下の平等に反するから差別である」という論理**

部屋の賃貸、子供の譲渡など、民間業者や一般人が申し込まれた際の、二つの論理を説明します。

## 権利

要求する権利があるなら、断る権利があります。断る権利がなければ、要求する側が有利なばかりで、対等な関係ではありません。

先方は申し込む権利を行使して来たが、こちらは断る権利を行使した。それだけです。

## 不許可

申し込まれたけど許可しなかった、ということです。申し込まれた側は権利については言及せず、ただ不許可の裁定を下した、それだけです。

## 「…の事例により矯正は不可能なので、同性同士を認めてもらうしかない」という論理

性の嗜好の矯正については言及しません。「じゃあどうすれば…」と言われてしましても、LGBT の根底の間違いが証明された後の生き方を、指図されたくないはずで

す。

指図されたいならしますけど、「他人の権利を侵害しない範囲で生きてください」という一般的な答えです。既知のはずです。

## LGBT症候群

「友達関係で悩んでいたときに、軽い気持ちで、心と体の性が一致しない話をしたら、相手が親身になって話を聞いてくれた。大切にされたことがうれしくて、性の不一致ということにした」

当サイト管理者による詩

「ミュンヒハウゼン症候群」は、周囲の関心や同情を引くために病気を装ったり、自らの体を傷付ける行動が見られます。LGBT が健康なのか不健康なのかは言及しませんが、周囲の関心や同情を引くためにトランスジェンダーを装っているなら、「トランスジェンダー症候群」と言えます（当サイト管理者提唱）。

LGBT に傾倒している人は、自身の本来の問題から目を背けてはいないでしょうか。LGBT が盛り上がりを見せている間は優遇されますが、流行りが過ぎ去れば、例えば、自身が抱える対人問題と向き合うことになります。

現在は同性の相手とケンカしても、「同性同士を認めない社会がおかしいんだ。制度がないから仕方がない。私たちが悪いわけじゃない」に行き着きますが、仮に、LGBT が認められる世界になったら、「うまく行かない原因は自分たちの中にある」となり、国や社会、他人のせいにできなくなります。

自分の性別の利点を見られないなら、仮に、体や社会が変わっても、不満を見つければ、再び外側に怒りをぶつけることになります。自分の内面を変えずに、周りを変えることに終始して、自分から逃げ回り続けます。

社会には理不尽なことがいくらでもあります。LGBT の人達が不遇な目に遭っていても、媒体が注目を浴びるように取り上げるから、多くの人に知られるようになりましたが、その陰では、その他の分野で数えきれないほど悔しい思いをしている人たちがいます。

LGBT にスポットライトが当たるから、周囲は暗いまなのです。

## 性分化疾患

事業サービス申し込みの職業選択欄に「アルバイト」や「個人事業主」があっても、「青色専従者」はありません。

青色専従者として働いて給料をもらっていても、個人事業主と同じ家計のため、家賃や水道光熱費の分が給料に含まれてなければ年収は低く、分割払いの申請は通りません。

「自分は青色専従者だけど職業選択欄には無いから、労働者として認められてないのかな…」残念ながら青色専従者は、法律上は「労働者」ではありません。個人事業主も労働者ではありませんが、職業選択欄には用意されています。

「医師から性別を告げられているけど、性器からすると、ハッキリしない。性別欄に『男』『女』しかないから、自分は人として認められてないのかな…」人でなければなんでしょう。

「石」でしたら、相手は話しかけて来ません。「人」であっても、この国にいる権利がなければ、ある意味、「物」のようにすぐに送り返されます。

制度を作るときに性分化疾患の方を取りこぼしてしまい、そのまま広まった…を、「人として認められてない」は悲哀が過ぎると思います。

言えがいいんです。「履歴書不要と書かれていたので手ぶらで来ました。覚えてないので、学歴と経歴を年代ごとに用紙に書けません」とか、「自分は青色専従者ですが、該当する職業項目がありません」とか、「実は転出届けは出しましたが、転入届けをまだ出してなくて…」とか、「実は年金手帳を無くしました」とか、「実は収入がありません。預金はあるので部屋を貸してほしいです」とか、「実は家出して来ました」とか…です。

みんな事情を抱えてますし、悩みがあります。

大変だと思っている方は、「自分は壮絶人生を送って来たんだ」と胸を張って生きてほしいです。

## 男性と女性が同じに扱われる世界になったら…

女性に重労働をさせる傍らで、男性に事務仕事をさせていいことになります。性別を理由に配置転換願いは出せません。

子供を作るときは、「男と女」の組み合わせを選びます。男と女は同じとされているにも関わらずです。

人はいつか必ず死が訪れますが、「死とは何か深く語り合うこと」がタブー視されているように、「子供を作るときは男と女を組み合わせる事実」もタブーとされ、臭い物に蓋をする社会が加速するのではないのでしょうか。

男性は腕立て伏せを難なくこなしますが、女性是一次もできません。

運動測定の基準を性別で分けなければ、男女混合の中で、女性は劣った測定値を残します。

男性と女性を分けるのは区別です。差別ではありません。

頭脳労働に性別は関係ありませんが、肉体労働は性別で重労働または軽労働に分けるしかないので、一律に男性と女性を同じに扱うのは無理です。

最終更新日 2026-08-25

[まこと](#)